

2018/9
No.276

WAC

WONDERFUL AGING CLUB

長寿社会文化協会

2018年9月20日発行 通巻276号

<http://www.wac.or.jp/>

E-mail : iken@wac.or.jp



ふれあい ねっと

Wonderful Aging Club Network and Communication



▼ **会長に京極高宣さんが復帰**
— 定時総会を開催

- ▼ 全国のWACポイント43拠点の活動一覧
- ▼ 広がる福祉サービスの第三者評価事業
- ▼ 新しい介護資格「生活援助従事者研修課程」
- ▼ 「千葉ふれプラ」利用者、3年連続20万人超え



京極高宣
WAC 会長

再び会長に就任して フレイル予防に注力

認知症を受け入れ

私は2015年6月にWAC会長に推薦された後、再び本年6月にWAC会長を仰せつかりました。前回会長の就任挨拶で述べましたように、当時の本誌で、「いろいろな人の縁が重なってWACに」と題して次のように述べました。

3人の会長とご縁

私は縁あって、初代会長の下河辺淳先生とも、第2代会長の一番ヶ瀬康子先生とも、第3代会長の長谷川和夫先生とも、個人的にも親しいご縁がありました。もともと、第4代会長の藤井威先生については、ご高名はかねがね伺っていたのですが、意外にご縁が少なく、今日はWAC顧問としてご指導を賜っているところで

す。
私自身は現在もお利用者2900人/日、職員850名(常勤換算)の大規模社会福祉法人の理事長として、現役生活を続けており、必

ずしもWACの任に適さないかもしれませんが、歴代の会長の跡をかるうじて継げればと願っています。

ARRPとは別途の道を

WACの歴史を繙くと、最終的に目指そうとしたのはアメリカのARRP(全米退職者協会)ですが、第2代会長の一番ヶ瀬先生が、現理事長の升田忠昭さんに「WACとして他にはない存在感を示す最適な方法は、例えばARRPとのタイアップです」と指摘されました。以後、升田さんはARRP日本事務所代表として、2006年のARRPフォーラムを東京で開催し、大成を収め、現在もおWACとARRPとの連携ブリッジ役を務めておられることは周知のとおりです。

私は、アメリカの歴史的事業からARRPが誕生し、日本とは状況が異なることから、WACはARRPとは多少は別途の新たな位置づけが必要だと考えています。

いずれにしても、設立趣意書に謳われている4つの柱、すなわち(1)地域コミュニティの再生、(2)お互いの支え合い活動、(3)生涯学習、(4)高齢社会に関する調査・研究は、今後のWACの事業として継続していかねばなりません。

そして、現在の高齢者問題の最大テーマである認知症をいたずらに危険視することなく、長寿社会の産物として認知症の高齢者を前向きに受けとめ、それに対する人間の尊厳をふまえた対応を行い、加えてフレイル予防(虚弱対策)をも一層強力に推し進める必要があります。

私も微力ながら、自らのフレイル予防に特段の努力を重ねつつ、升田理事長と執行役員と一丸となり、WACの存在価値を高める活動を推進していきたいと願っています。

現在、少子高齢社会の真っ只中にある日本において、21世紀の初頭に高齢者が元気で生き生きできるようになるため、WACの底力をもう少し発揮させたいものです。

WAC定時総会



京極高宜さんが会長に復帰 3700万円の増収 会費減収でマイナス決算に

公益社団法人・長寿社会文化協会（WAC）は6月28日、東京都港区の日本女子会館で定時総会を開いた。

正会員129人のうち、本人出席が27人、議決権行使書を届け出て出席と見なされたのは46人、合計73人の出席となった。小町純一事務局長から「正会員総数の過半数を超えており、定款第18条の規定により、総会が成立している」と報告があった。

升田忠昭理事長からの挨拶があった。「WACは設立30周年を迎えますが、根本的な改革が必要な時期に差し掛かっている。時代に合った、先取りするような体制や目標を心がけ、存在感を出して、世の中に貢献していきたい」。次いで、定款第17条の規定により、総会の議長に茶山ちえ子さんを選出した。

第1号議案

2017年度事業報告

茶山議長が「決議事項の第1号議案について小町事務局長から報告をお願いします」と要請し、小町事務局長と担当理事から報告があった。

【公益事業1】

千葉県からの指定管理者事業の千葉県福祉ふれあいプラザは、第3期指定管理の4年目であり、総利用者数が3年連続で20万人を超えた。福祉機器展

は目標の3500人に対して、実績4750人と大幅増となった。

認知症予防に関しては講演会、介護予防講習「ピンピンキラリ初歩麻雀」などを実践し、いずれも前年より多くの人が参加した。

介護予防担当者研修では地域包括支援センターの支援を前面に出して実施し、県内19市町から参加があった。

国際医療福祉大学成田看護学部から実習生69人を受け入れた。県による評価では「優良」の総合評価を受けた。

福祉サービスの第三者評価事業は、一昨年、事業として認められ、正式な事業としてスタートした。一般管理費を負担した上で、中期計画の1年目で黒字を出すことができた。受託件数の7割が都内の区の入札に応じたものだが、母子生活支援施設等新しい分野の評価もできた。

機関誌の「ふれあいねっと」は1回の発行に留まった。

【公益事業2】

「みなと＊しごと55」は、ポスティングやメールマガジンによる広報活動が求職・求人や問い合わせ件数の増加に効果はあった。だが、全体の求職者数等は目標を達成できなかった。

【公益事業3】

WAC独自事業として、東京で認知



症カフェ・ケアラースカフェ開設講座とコミュニティカフェ開設講座を1期ずつ行った。以前の受講生も含めて計8人が、3月に開かれたコミュニティカフェ全国交流会に登壇し、約150人の参加者の前で開設プランや開設事例を発表した。

【収益事業1】

介護職員初任者研修は、東京都北区や川崎市で行った。前年度に引き続き、東京しごと財団からの委託で生活支援サービス研修を年6回開催した。また、東京都の八王子市と府中市でも生活支援サービス研修を行った。川崎市では介護保険サービス事業所の職員に、採用力、新任職員育成力向上、職員の定

着を図るためのインストラクター研修を行った。

【収益事業2】

高齢者疑似体験事業は厳しいが、研修の依頼は堅調だった。「つくし君」は東京都台東区からの委託事業が中心だが、小学校16校で909人に体験してもらった。インストラクター養成研修は計57人が受講した。

認知症疑似体験事業は、問い合わせが相次ぎ、計13件、1000人以上に体験してもらった。うち11件が新規依頼で、今後もマーケットの開拓が期待できる。

【収益事業3】

高齢者の介護予防事業として品川区からの委託を受けて、健康マージャン、「男の手料理教室」、「わくわくクッキング」、「外出習慣化事業（大井町食事処）」を行った。西大井いきいきセンターの来館者向けの昼食提供も行っている。

2017年度収支実績

小町事務局長から「収入は前年度より約3700万円増えた。しかし、会費収入が予算を約270万円下回った。このため約250万円がマイナスの収支差となった」と報告された。

次いで、鈴木誠監事から監査報告があった。

議長が出席会員に質問を求めたがなかった。そこで、採決に入り、第1号議案は異議なく承認可決された。

第2号議案

2018年度事業計画

小町事務局長と担当理事から提案趣旨の説明があった。

【公益事業1】

千葉県福祉ふれあいプラザは、第4期指定管理の獲得に向けて実績づくりをしていく。市町村との連携を深めた出張県民研修、高齢者の居場所づくりを介護相談事業とあわせて強化する。

福祉サービスの第三者評価事業は、質の高い評価をするため評価件数を絞り、事業基盤を確立し、中期計画の確実な達成を目指す。

「ふれあいねっと」は、年6回の発行を目指し、チームを組んで動いていく。

【公益事業2】

「みなと＊しごと55」は、港区や他団体との協力体制の強化、認知度向上、マッチングの精度向上に努力していく。

【公益事業3】

コミュニティカフェ開設講座を1期または2期開催する。既にコミュニティカフェを運営している方向けの運営見直し講座も試験的に行う。

【収益事業1】

生活支援サービス研修、東京しごと財団の受託研修のほか、助成金事業に申請する。

【収益事業2】

高齢者疑似体験事業は、研修を全国展開できるよう働きかけていく。皆様にもご尽力いただきたい。

認知症疑似体験事業は、VR（ヴァーチャル・リアリティ）対応のプログラムの開発に取り組み、事業拡大したい。



【収益事業③】

品川区委託事業を継続する。

事業計画に関連して、会員から、認知症疑似体験の自動車学校での新しいプログラム開発、「ふれあいねっと」のチーム体制、会員拡大策、30周年事業などについて質疑応答がなされた。議長が採決に入り、第2号議案は異議なく承認可決された。

第3号議案

理事選任について

議長が、役員選挙は2017年5月24日に改定された役員選挙管理規程に基づいて実施される旨を述べ、鷹野義量選挙管理委員長に選挙の実施方法について説明を求めた。

続いて、選挙管理委員長から経過報告および投票方法の説明があり、出席会員は投票に入った。

選挙管理委員長が「理事立候補者が有効投票数の過半数を超える賛成を獲得した」と選挙結果を報告し、賛成多数で第3号議案は承認可決された。なお、個別の投票結果は別途閲覧できるようにした。

15分の休憩の間に、第4回理事会を開いた。升田理事長が議長となり、「今般、理事に選任された京極高宣氏を、会長職を担う代表理事として定款第22条および第23条の規定に基づき選定したい」と述べた。協議した結果、全員一致をもって、次の通り選定した（敬称略）。

代表理事（会長） 京極高宣

以上で、定時総会の議案審議はすべて終了し、議長は閉会を宣言した。引き続き同会場で懇親会を開いた。

2017年度収支実績

| 事業名 | 収入 | | | 支出 | | | 収支差 | | | |
|--------------------|----------------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|-------------|-------------|----------------------|---------|
| | ① 収入予算 | ② 収入実績 | ③ 達成率 | ④ 支出予算 | ⑤ 支出実績 | ⑥ 消化率 | ①-④ 予算収支 | ②-⑤ 収支実績 | 参考 2016年度 収支実績 | |
| 事業 | 公1 千葉県指定管理事業 | 87,150 | 87,359 | 100% | 87,150 | 90,857 | 104% | 0 | -3,499 | -1,076 |
| | 福祉サービス第三者評価事業 | 11,000 | 16,159 | 147% | 11,000 | 15,697 | 143% | 0 | 462 | 585 |
| | ふれあいねっと | 0 | 500 | — | 3,000 | 621 | 21% | -3,000 | -121 | -3,413 |
| | 計 | 98,150 | 104,018 | 106% | 101,150 | 107,176 | 106% | -3,000 | -3,158 | -3,904 |
| | 公2 みなと*しごと55 | 25,375 | 25,375 | 100% | 25,375 | 25,375 | 100% | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 25,375 | 25,375 | 100% | 25,375 | 25,375 | 100% | 0 | 0 | 0 |
| | 公3 コミュニティカフェ事業 | 1,920 | 342 | 18% | 2,320 | 753 | 32% | -400 | -411 | -1,660 |
| | 計 | 1,920 | 342 | 18% | 2,320 | 753 | 32% | -400 | -411 | -1,660 |
| | 公益事業合計 (A) | 125,445 | 129,735 | 103% | 128,845 | 133,305 | 103% | -3,400 | -3,569 | -5,564 |
| | 取1 受託研修 | 42,000 | 51,062 | 122% | 32,000 | 48,207 | 151% | 10,000 | 2,856 | 2,405 |
| 計 | 42,000 | 51,062 | 122% | 32,000 | 48,207 | 151% | 10,000 | 2,856 | 2,405 | |
| 取2 高齢者疑似体験 | 19,000 | 16,969 | 89% | 10,000 | 11,544 | 115% | 9,000 | 5,425 | 6,134 | |
| 認知症疑似体験 | 3,000 | 2,981 | 99% | 2,000 | 2,474 | 124% | 1,000 | 508 | -158 | |
| 計 | 22,000 | 19,950 | 91% | 12,000 | 14,017 | 117% | 10,000 | 5,933 | 5,975 | |
| 取3 料理教室・健康マージャン等 | 7,100 | 6,890 | 97% | 7,000 | 8,264 | 118% | 100 | -1,374 | -997 | |
| 計 | 7,100 | 6,890 | 97% | 7,000 | 8,264 | 118% | 100 | -1,374 | -997 | |
| 収益事業合計 (B) | 71,100 | 77,903 | 110% | 51,000 | 70,488 | 138% | 20,100 | 7,415 | 7,383 | |
| 公益事業・収益事業 (A+B) 合計 | 196,545 | 207,638 | 106% | 179,845 | 203,793 | 113% | 16,700 | 3,845 | 1,819 | |
| 共通 | 会費収入・雑収益 | 12,000 | 9,688 | 81% | 0 | 0 | 0% | 12,000 | 9,688 | 9,837 |
| | 管理費 | 0 | 0 | 0% | 28,000 | 15,084 | 54% | -28,000 | -15,084 | -20,780 |
| | 組織運営費 | 0 | 0 | 0% | 700 | 942 | 135% | -700 | -942 | -783 |
| 共通 (法人会計) 合計 | 12,000 | 9,688 | 81% | 28,700 | 16,026 | 56% | -16,700 | -6,337 | -11,726 | |
| 公益法人合計 | 208,545 | 217,326 | 104% | 208,545 | 219,818 | 105% | 0 | -2,492 | -9,907 | |

(単位：千円)

地域で交流し、助け合う活動が広がる

WACの仲間たちが、ポイントをつくって全国で活動しています。

ポイント活動の内容は、趣味やスポーツ、介護や助け合い、子育て支援、高齢者疑似体験「うらしま太郎」研修、認知症疑似体験研修、コミュニティカフェ、セミナー・講演会など多岐にわたっています。

あなたも関心をお持ちの分野で、地域で活動してみま

せんか？ 興味をひかれる活動が近くにあれば、ぜひ参加してみてください。

そして、自分たちでも活動を始めてみようと思われた方は、お気軽にWAC本部までご連絡ください。会員が3人集まればポイント活動ができます。

事務局にポイント登録をすると、活動中のけがや破壊事故の際に、保険による補償制度が適用されます。

●ポイントガイドの見方●

ネットワークセンター名

ポイント名

代表者名（敬称略）

☎住所

☎電話 / ☎FAX

✉Eメール

🌐ホームページ・ブログ

Facebook

Twitter

①主たる活動内容

②グループ会員数

③一言アピール

NPO 法人

🏠介護保険事業者

東北



WAC 東北ネットワークセンター

金子 賢二

☎984-0051 仙台市若林区新寺 1-5-26 レインボー仙台 407

Love the Light lighting design office 内

☎022-215-1830

✉lovethelight@sage.ocn.ne.jp

①料理教室、習字教室、ボランティア、読書会

③有志で毎月1回読書会を行い、毎回10人前後が参加しています。

宮城県

WAC 翻訳・通訳サービス

金子 賢二

☎983-0852 仙台市宮城野区榴岡 3-2-5 サンライズ仙台 2 階

LSC 内

☎090-2845-8901 / ☎050-3737-6816

✉kaneko111@hotmail.co.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/sendaitrans/>

①セミナー・講演会、コミュニティカフェ、おしゃべり、国際交流、外国語研修

②25人

③2014年発足。翻訳・通訳サービスを通して、社会への貢献を旗印に活動しています。会員や会員の仲間と一緒に研修会・懇親会を開き、会員を増やしています。有償ボランティアとしての

翻訳・通訳サービスの仕事を獲得するとともに、無償ボランティアワークも行っています。



東北大学留学生に仙台七夕の紙飾り制作の実習と通訳を行いました。

北海道



WAC 室蘭ネットワークセンター N 介保

荒川 隆志

☎050-0072 室蘭市高砂町 1-10-17

☎0143-45-2034 / ☎0143-45-2100

✉wacmuro@oregano.ocn.ne.jp

①介護関係、健康マージャン、編物教室、バス旅行、作品展

②57人

③「さあ、出てきませんか」の呼びかけで始まったWAC室蘭は、今年度で27年目を迎えることができました。

WAC室蘭では、会員が集い交流を深めるための各種行事、趣味の仲間が集まり、楽しむサークル活動、各種案内や会員情報が載っている会報誌「WAC室蘭だより」の隔月奇数月発行、といった活動を行っています。

昨年度は、各種行事として、4月に総会・懇親会、9月に日帰りバス旅行で札幌へ行き、10月に隔年開催の「趣味の作品展」を行い、12月に忘年会を行いました。

テニスのサークルが昨年10月で終了、「服のリフォーム」が今年3月で終了となりました。



日帰りバス旅行で行ったサッポロビール園で

これからもより多くの方々の絆を広げていき、会員の皆様が気軽に参加できる会にしていきたいと思っています。

ワックさっぽろ N

谷口 信子

☎047-0021 小樽市入船 2-11-19 さかえ荘

☎080-3636-7664

①介護関係 ②4人

WAC 仙台竹細工趣味の会

庄子 末松

☎982-0011 仙台市太白区長町 1-7-28-1203

☎/☎ 022-248-5958

✉s-take1203@wa3.so-net.ne.jp

①竹工芸品等の作製

②40人

③昔懐かしい竹細工作りを通して、会員相互、あるいは地域社会との交流を図り、長寿社会をエンジョイすることを目的に活動しています。作製用の材料は、仙台七夕まつりで使った竹のリサイクル。1回3時間、月2回の会で1つの作品が出来上がります。作品のテーマをシリーズ化しており、かつては伊達正宗、織田信長、豊臣秀吉といった武将の兜、松虫、カマキリ、鈴虫といった昆虫を制作しました。



仙台市高齢者生きがい健康祭(シアアイキイキまつり)に参加した竹細工趣味の会の会員



シアアイキイキまつりでの竹細工作りの実演

WAC まごころサービスみやぎ **N** 介護

横濱 敬子

☎980-0011 仙台市青葉区上杉 1-16-4 センチュリー青葉 601

☎022-215-4353 / ☎022-215-4356

✉waccare@gol.com

①介護関係、子育て関係

②50人

③訪問介護、居宅介護支援、障害者への支援、自主事業のまごころサービス、保育園等の運営をしています。総合事業への切り替えを1年かけて実施、何とか乗り切りました。保育園は小規模事業保育園がどんどん増えているので、待機児童はほとんどなくなりましたが、運営が大変です。



ハロウィンの日、近くの会社を回り、お菓子をたくさんもらいました。



青葉消防署に出向き、救命講習を受講しました。



小山照子理事を講師にして、調理実習を受けました。

関東



栃木県

WAC とちぎ

高村 和夫

☎320-0828 宇都宮市花房本町 5-5 有限会社タスコ内

☎028-637-2488 / ☎028-635-5395

✉info@kenkouma-t.com

●http://kenkouma-t.com/

①健康マーじゃん

②50人

③健康マーじゃん教室を毎月第1・第2・第3水曜日の午後1時から4時30分まで開催し、毎回17～20人参加、初心者にはスタッフが指導しています。県内の公民館や施設などから健康マーじゃんの指導要請があり、その都度対応しています。ねんりんピック栃木県代表選手選考の主管団体としての役割を担い、その他、交流大会を主催。毎回120～140人参加しています。

山形県

WAC ふれあい天童 **N**

加藤 由紀子

☎994-0011 天童市北久野本 2-4-18

☎023-653-0393 / ☎023-653-0398

●http://www2.plala.or.jp/fu-te/

①介護関係、助け合い活動

②200人

③移動サービス、洗濯サービスなどの日常生活支援、居場所を通じた子育て・病児・障害者支援、隔月に昼食会、4月に県内の桜の名所を巡る花見の会、10月に紅葉見学、芋煮会、5月・11月に餅つきなどを行っています。

WAC さしすせそ

藤井 多津子

☎ 145-0065 大田区東雪谷 4-6-8

☎ 03-3728-6540 / ☎ 03-3728-6702

✉ jjiwakuroneko@yahoo.co.jp

- ① 高齢者疑似体験、認知症疑似体験、料理教室
- ② 14人

③ WAC が品川区から委託を受けた高齢者の介護予防事業の「男の手料理教室」「わくわくクッキング」「外出習慣化事業・食事処」を一緒に行っています。「男の手料理教室」は、65歳以上の男性が対象です。週1回の10回コースで、1人分を簡単に作る料理方法を皆で実践します。「わくわくクッキング」は男女問わず参加でき、月4回の10回コースで季節感のある献立と料理のコツを学びます。「食事処」は、月1回、第3火曜日に



高齢者が集まる「食事処」での昼食



「男の手料理教室」で調理に挑戦する男性たち

大井町高齢者複合施設の集会所で開き、地域の高齢者に栄養バランスの取れた食事を提供しています。男の手料理教室に通っていた生徒達もスタッフとして料理の腕をふるっています。品川区在住の方の参加をお待ちしております。

風雷社中 N

中村 和利

☎ 146-0094 大田区東矢口 3-31-8 1階

☎ 03-6715-9324 / ☎ 03-6715-9327

✉ in@fuu-rai.com

☎ http://fuu-rai.org/

📘 https://www.facebook.com/fuurai.japan/

🐦 https://twitter.com/fuuraisyatyu

- ① 介護関係、移動支援、ガイドヘルパー講習、DET（障害平等研修）
- ② 15人



障害平等研修

群馬県

WAC ぐんま N 介護

後藤 満里子

☎ 378-0061 沼田市岡谷町 1077-2

☎ 0278-22-0705 / ☎ 0278-24-8553

✉ oze-info@oze-nadeshiko.com

☎ http://www.oze-nadeshiko.com/

- ① 介護関係、子育て関係
- ② 10人

③ WAC ぐんまの母体のNPO法人「尾瀬なでしこの会」は、デイサービスと隣接する茶飲み処「なでしこ」を一体的に運営しています。「なでしこ」は火・金曜日に、栄養バランスの良い食事と適度な運動、社会交流の場を提供しています。月1回、奇数月にはしめ縄リース作りや絵手紙などを体験する手芸教室を開催、偶数月には西日本を中心に盛んに行われているスリーA方式認知症予防ゲームを沼田市で初めて定期的に行っています。



月1回の地域と子どもの交流会で、12月はしめ縄リースを作りました。



桐生市から講師を呼んで、風呂敷包み講座を行い、スイカ包みやワイン包みを作りました。

スリーAとは「明るく、頭を使って、あきらめない」の頭文字「A」をとった認知症予防の取り組みの名称です。1コース2時間、ゲームは全部で21種類あり、頭を使って笑いをともなう楽しいゲームを次々と進めていきます。参加費は1回200円で、お茶と菓子付き。教室には平均4.5人が参加しています。初めは興味がなく連れてこられた方も、1年近く通っているうちに積極的になり、普段の生活も変わってきます。市内各地にも広めていきたいと活動を続けています。

東京都

渋谷介護サポートセンター N 介護

寺下 すみえ

☎ 150-0046 渋谷区松濤 1-1-3 松濤栄光ビル 4階

☎ 03-3469-436 / ☎ 03-3469-4388

✉ npo@shibuyakaigo.com

☎ http://www.shibuyakaigo.com/

- ① 介護関係、高齢者疑似体験、セミナー・講演会、調査・研究、ボランティア、ケアマネジャー向け研修会

② 6人

③ 居宅介護支援事業、介護の相談、地域の高齢者疑似体験ボランティア、毎月のケアマネジャー向け研修会、広報（HP・機関誌）、しぶやボランティアセンターの「せせらぎまつり」参加。



5月13日に行われた「せせらぎまつり」にて

WAC あいネットワーク川崎 N

矢野 智之

☎ 211-0001 川崎市中原区上丸子八幡町 816-12 アイ・ビー・エス内

☎ 044-431-5354 / ☎ 044-433-4712

✉ yano@we-ibs.com

①介護関係、料理教室、コミュニティカフェ、ボランティア、認知症・介護等の勉強会、認知症予防カフェ

②160人

③コミュニティカフェ「みよしの」をオープンして、今年で8年目。地元の方々に支えられています。蕎麦打ちの技術をグループのみんなで学び、高齢者施設や被災地等で振る舞っています。WACさしすせそと協力して、品川区の「大井林町食事処」で高齢者に手打ち蕎麦を食べてもらいました。



コミュニティカフェ「みよしの」で蕎麦を打つ高齢者たち

2015年8月には東京都世田谷区奥沢と川崎市幸区南加瀬に認知症予防カフェをオープンし、蕎麦打ち、認知症予防トレーニング、音楽、コミュニケーション紙芝居などを取り入れています。お近くにお出の際は、ぜひお立ち寄りください。

Ribinet (福祉理美容師ネットワーク)

戸塚 貴博

☎ 216-0026 川崎市宮前区初山 1-38-3

☎ / ☎ 044-976-9995

✉ houmonribiyou@gmail.com

🌐 <http://ribinet.com/>

📘 <https://www.facebook.com/ribinetwork/>

🐦 https://twitter.com/ribi_net

①介護関係、理美容・訪問理美容に関連する内容、および訪問理美容師の育成

②約200人

③WACのポイントになる前から、訪問理美容師として活動している全国の仲間が、フェイスブックなどを利用して情報交換し、勉強会を開いてきました。訪問理美容業務だけではなく、現在まであまり横のつながりがなかった業界の裾野を広げ、訪問理美容に携わる技術者の雇用の促進、より専門的で安全性の高いサービスが提供できるように努めています。

そして、介護施設だけでなく、一番施術が困難とされる在宅の人に対応できる訪問理美容師の育成に努めることで、訪問理美容業界に新たなパワーバランスを構築していきます。また、福祉・訪問サービスに携わる医師・看護師・介護士・ケアマネジャー・マッサージ師・入浴サービス業者など、さまざまな業種の方々との交流、情報共有、ご教示により、サービスを受ける側（顧客）にマッチした知識・スキルが培われ、顧客・介護業界から必要とされる訪問理美容師グループに成長することを目的として日々活動しています。



寝たきりの人の髪を手入れする練習

2018年4月、白血病や無毛・乏毛症、事故等で髪の毛を失った子ども達に医療用ウィッグ（かつら）をプレゼントしようと、クラウドファンディングで約80万円を集めました。

WAC 認知症改善相談センター N

小川 真誠

☎ 164-0012 中野区本町 6-27-12 豊国ビル 102号

☎ 03-3384-1178 / ☎ 03-3229-1675

✉ gagolkk@m18.alpha-net.ne.jp

🌐 <http://gagoltherapy.com/>

①介護関係、セミナー・講演会、国際交流

②259人

③中野区民公益活動基金助成事業「健康づくり講座=心身体操プログラム+食育（薬膳スープ提供）」、心身（しんしん）サロン推進事業



2017年10月に開いた「第16回指導士国際交流研修大会」



2017年7月に開いた香港での心身機能活性化運動療法のセミナー

（NPO会員間有償心身療法サービス）、教育研修事業（国際交流研修会「あきらめないで認知症市民公開講座」）、指導士育成研修会共催、ホームページ、機関紙「心身活性たより」の発行（2017年6月、8月、11月、18年3月）、島根県出雲市「軽度うつ・閉じこもり改善事業（しんしん活性教室）」受託・実施、栃木県下野市介護予防事業受託（ゲーゴルセラピー教室）実施。

ヒート・システム

山下 謙太郎

☎ 156-0045 世田谷区桜上水 4-7-5 三星ビル

☎ 03-3290-2121 / ☎ 03-3290-2131

✉ yamashita@heatsystem.co.jp

①防災用グッズの普及活動

神奈川県

WAC プライム・ケア・トレーニング (WAC P.C.T)

前田 宏興

☎ 241-0836 横浜市旭区万騎が原 29 横濱万騎が原行政書士事務所内

☎ 045-391-3501 / ☎ 045-442-3013

✉ tak1031ashi@gmail.com

①介護職員初任者研修、調査・研究

②3人

③介護資格取得のサポート、地域コミュニティ（主に同窓会）活動に対する支援策調査

WAC 介護福祉サポートセンター

塚本 肇

☎ 230-0074 横浜市鶴見区北寺尾 2-13-18

☎ 090-1769-5602 / ☎ 045-718-5653

✉ tsukamoto.h.0721@gmail.com

①介護関係

WAC 浦和 ケア・ハンズ ^N

大麻 みゆき

☎ 330-0073 さいたま市浦和区元町 2-5-1 アーバン元町 102

☎ 048-813-1006

✉ c9a9r5e@nifty.com

🌐 <http://www.carehands.jp/>

①介護関係、子育て関係、高齢者疑似体験

②227人

③在宅支援活動を始めて23年。介護保険ではできない支援を有償の支えあい活動として行っています。2017年度は高齢者宅での在宅支援を10,685.5時間、5,258件実施しました。サービスを提供する協力会員は49人。資格のない人のほうが多いですが、誠実な人、相手の暮らしぶりに合わせられる人を第一条件にしています。ポイントの立ち上げ以前にWACの介護教室で学んだことは、今でも基本としています。「医者にも看護師にもできないことをするのがヘルパー」と教えられ、プライドを持って活動しています。高齢者疑似体験は、毎年、地元の中学校やNPO法人、生協等と協力して行っています。また、協力会員の集まりであるケア・ハンズサロン「つくみの会」では、書道や手芸教室、バザーへの出展などの活動をしています。2015年11月に認定NPO法人に認定されました。今後の課題は、活動を次世代につなぐことです。協力会員の多くは60～70歳代と高齢化しています。若い世代に魅力ある活動であることをアピールし、活動に巻き込んでいきたいです。

千葉県

ふれあいネットまつど ^N 介護

嶋田 直美

☎ 270-2251 松戸市金ヶ作 99-6

☎ 047-710-7450 / ☎ 047-710-5940

✉ fnm2011@r4.dion.ne.jp

🌐 <http://fnm2011.okoshi-yasu.com/>

①介護関係、介護職員初任者研修、高齢者疑似体験、コミュニティカフェ、ボランティア

②452人

③元気高齢者のための生活支援ボランティア研修会にて、受講生に高齢者疑似体験うらしま太郎を装着し、生活のしづらさ、不便さを学んでいただいています。



さんまを仕入れて、食べて復興支援した「うらしま祭」



埼玉県

生活支援センター YOU ^N

石井 初枝

☎ 330-0065 さいたま市浦和区神明 2-12-15 オーク南浦和 103

☎ 048-838-7177 / ☎ 048-838-7184

✉ you-support@mtj.biglobe.ne.jp

①介護関係、子育て関係

②20人

③さいたま市、蕨市、戸田市を中心に助け合い活動と、介護保険の訪問介護と居宅介護支援のサービスを提供しています。2級（初任者研修）以上のヘルパーが20人おり、年齢は30～60歳代と幅広いです。近所に住む方に何かあったら駆け込める、相談に乗ることができる存在であることを心がけています。元々は有料老人ホームの有償ボランティア組織から始まりました。「自宅がいい」という入居者の声を聞いて、自宅で過ごすための活動ができればと思うようになりました。事務所を借りて独立し、地域の方に知ってもらいたいと食事会や絵手紙教室、押し花教室などの行事を開催。バザーやフリーマーケットに出かけ、収益を自転車やコピー機等の購入にあてました。利用者の希望に応じて障害者の支援にも取り組んでいます。月1回の定例会では、事例検討や外部から講師を招いて制度の勉強を重ねています。日頃からヘルパーの記録を見て振り返りを行い、利用者本人の自立を損ねないように、また、ヘルパーが入りすぎて家族から孤立させないように関係性を重視しています。ヘルパーはその人の生活をデザインする仕事であり、人間対人間のふれあいができる人育てをしていきたいです。



ヘルパー達の料理教室。少ない材料でどんな料理ができるか考えながら作っています。



総会の様子。理事やヘルパーが集まり、次年度の抱負を検討しました。

WAC 豊齢健康の街づくり

藤咲 俊広

☎ 356-0054 ふじみ野市大井武蔵野 1352-11

☎ 090-8594-9795

①健康マージャン

②130人

③健康マージャンを通して介護施設訪問、健康マージャンの出張講座（出張教室）、市民フェスティバルに健康マージャン体験コーナーとして出店（2卓）、市民講座「プラスワン講座」健康マージャン体験講座を開催しています。

北陸・信越



石川県

WAC 輝き N

西脇 瑞枝

☎ 921-8015 金沢市東力 1-153

☎ 076-256-3641 / ☎ 076-256-3643

✉ wac-2097@kanazawa-net.ne.jp

🌐 <https://www.wackagayaki.org/>

①介護関係

②30人

③ボランティア活動の柱となるのが福祉送迎。1日40～50件の利用があり、ボランティアの運転手10人、ヘルパー利用も含めて車両20台で対応しています。利用者は、車いすの方が半分以上を占めるほか、高齢の方の買い物や通院などのニーズがあります。送迎のついでに用事を頼まれることもあります。



全身まひの障害の方が、不自由な体でピンセットを駆使して作りました。



僕は特急の運転士。利用者3人が運転を楽しんでいます。



ボランティアに囲まれてクリスマスの集い。サンサンクラブ「かがやき」の皆さん。

長野県

ながの健康麻雀サロン

宮下 文夫

☎ 380-0836 長野市南県町 1041-2 新建第3ビル5階

☎ / ☎ 026-238-1231

①健康マーじゃん

②56人

③健康マーじゃんは、毎週水・土曜日の10～17時に定期的開催しているほか、麻雀を習いたい人には教室を開いています。平均16人ほどが参加。60歳以上の方が多く、最高齢は82歳。女性の方が3:2の割合で多いです。お弁当を持参したり出前をとったりして、朝から夕方まで通して続ける方が多くいます。たばこを吸わないルールなので「部屋の中がきれい」と喜ばれています。

千葉ケア企業組合 介保

町野 美和

☎ 261-0011 千葉市美浜区真砂 1-10-18

☎ 043-278-9298 / ☎ 043-277-5771

✉ machinomiwa@jcom.zaq.ne.jp

①介護関係、ヘルパー研修

②2人

③厚生労働省の高年齢者等共同就業機会創出助成金を受け、6人の組合員で2010年9月に設立しました。10年11月に居宅介護支援事業の「ケアマネまご」と通所介護事業の「デイサービスまご」、12年5月に訪問介護事業を始めました。14年5月には「お泊まりルーム」を設け、宿泊利用者も受け入れています。

デイサービスは、利用者の要介護度などに応じて個別ケアを中心に提供しています。ボランティアの協力で、脳トレを兼ねた健康マーじゃんを実施（ブービーは月曜日午前、レジェンドは木曜日午前）。クッキングケアでは、味付けまでしてもらったこともあります。

機能訓練として、屋外や水中での歩行訓練、卓球、マシン使用の筋力トレーニングを行っています。これらは、近くの市営の体育館やプールを使って、費用が安く済むようにしています。

また、できるだけ健康な普通の人と同様のことをしてもらおうと、2カ月に1回のバス旅行では、競馬に行き馬券を買う体験してもらったこともあります。近くのスーパーマーケットに設置された期日前投票所に利用者をお連れし、投票してもらったことも4回あります。

居宅介護支援では、中国人の利用者も4人おり、日本に帰化した人に通訳を頼んでいます。手間暇がかかりますが、私たちのささやかな力で、少しでも社会がよくなっていけばという思いで、事業を行っています。



味噌造りの後でちらし寿司を調理



健康マーじゃんを楽しむ男性陣



天気が良い日に、屋外で昼食

脳トレふれあい麻雀

古川 孝次

☎ 460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-30 戸谷ビル 2階

麻雀 Peace

☎ 052-961-3679

✉ ko-ji...0412@docomo.ne.jp

①健康マージャン

②2人

③脳トレふれあい麻雀は場所を変えながら9年目と続いています。月曜日から土曜日の10～17時、曜日ごとにいろいろなメニューで開催しています。



近畿

WAC 近畿ネットワークセンター

高倉 幸次

☎ 〒 525-0055 草津市野路町 171-8

☎/☎ 077-562-5357

✉ koushou@iris.eonet.ne.jp

①セミナー・講演会

③ほっとケアまほろばと共催で認知症予防サロンを開催しています。

滋賀県

ほっとケアまほろば

高倉 幸次

☎ 525-0055 草津市野路町 171-8

☎/☎ 077-562-5357

✉ koushou@iris.eonet.ne.jp

①高齢者疑似体験、認知症疑似体験、健康マージャン、セミナー・講演会

②13人

③認知症予防健康マージャンと認知症予防サロンを月2回、草津コミュニティ支援センターで開催しています。



和室で行っている健康マージャン



認知症予防体操。理学療法士が指導し、脳トレも行っています。

憩いのサロン上野

吉川 恵子

☎ 521-0312 米原市上野 281-1

☎ 090-5882-1987

✉ ke762543@icloud.com

①健康マージャン

③民家併設の館をお年寄りの憩いの場として開放しています。健康マージャン、脳トレ、カラオケ、囲碁、将棋を行っています。外出の機会や趣味、地域の人との交流を通じて、寝たきりや認知症・うつ予防になる活動をしています。

東海



静岡県

WAC 清水さわやかサービス N 介保

松本 利枝

☎ 424-0929 静岡市清水区日立町 24-17

☎ 054-336-8844 / ☎ 054-336-8864

✉ wacshimizu@sepia.ocn.ne.jp

🌐 <https://www.facebook.com/wacshimizu/>

①介護関係、子育て関係、高齢者疑似体験、セミナー・講演会、ボランティア、居場所の活動

②110人



クラフト手芸教室



みんなの居場所「わくわく亭」で開いた蕎麦打ち体験教室

③「新しいふれあい社会を創造しよう…困った時はお互いさま…」を理念に掲げ、地域のニーズからヘルパー養成講座や介護保険事業、居場所の開設等、助け合い活動に軸足を置いて実践してきました。居場所の活動として、介護予防体操、手芸教室（パッチワーク、刺し子、クラフト）、歌声喫茶、蕎麦打ち、タぐれカフェ等を行っています。

愛知県

憩いの広場

森田 ひろみ

☎ 453-0834 名古屋市中村区豊国通 3-17 サンメイトビル 3階

☎ 052-411-7987 / ☎ 052-411-2389

✉ tmorita@sunmate.co.jp

①健康マージャン

②40人

③健康マージャンは6月から、毎週木曜日の活動に毎週火曜日をプラスして、シニアの方々の憩いの場所を提供しています。



ワイワイ、ガヤガヤ、お茶を飲みながら楽しい1日を過ごしています。

WAC 介護ふじ

佐橋 満智子

☎ 454-0921 名古屋市中川区中郷 3-337

☎/☎ 052-354-1274

WAC ゆずり葉

桑山 信子

☎ 661-0025 尼崎市立花町 2-13-31

☎/☎ 06-6429-8543

✉ wac.yuzuriha@gmail.com

①介護関係、高齢者疑似体験、認知症疑似体験、コミュニティカフェ、おしゃべり、バザー、介護予防百歳体操、手芸

②14人

③介護予防事業（尼崎市高齢者ふれあいサロン、いきいき百歳体操グループ等）、日常生活助け合い事業（移動支援）、研修事業（認知症疑似体験、高齢者疑似体験、尼崎市人権研修等）、地域交流事業（イベント出展等）。



福井市のイベントに認知症疑似体験を出展



いきいき百歳体操

和歌山県

WAC わかやま N

中村 富子

☎ 641-0051 和歌山市西高松 2-1-4

☎ 073-414-1189 / ☎ 073-418-2289

✉ cfare601@jtw.zaq.ne.jp

🌐 <http://www.jtw.zaq.ne.jp/cfare601/wac-wakayama.htm>

①子育て関係、高齢者疑似体験、旅行、セミナー・講演会、コミュニティカフェ、調査・研究

②111人

③長寿社会文化協会のポイントとしてスタートして今年6月で、20年になります。たくさんの方々にお力を頂き、無事20歳の成人式を迎えました。7月1日には記念事業を開催しました。午後からの記念講演会は、介護保険の改正とこれからの私たちの幸せとのつながりを学びました。それに先立ち、午前中はWACわかやまの20年を、パワポや年表をフル活用して参加者みんなで共有しました。

当初からのメンバーは2、3人しかいませんが、その後新たに参加したメンバーは、「20年の歩みは、これからのWACわかやまにとって、とても大切な歴史だ」と感動していました。



発足14年目で、JR和歌山駅前のみその商店街にふれあいの居場所「ほっこりさん」を開設しました。地域に溶け込むことの難しさを何とか克服、商店街の祭りに参加しました。

京都府

WAC さくらんぼ京都

石田 淑子

☎ 615-8241 京都市西京区御陵谷町 17-12

☎/☎ 075-392-0443

✉ nql28521@nifty.com

①介護関係

②8人

③介護保険対象外の外出介助サービスとして、月4回、買い物の同行と一人暮らしの方の病院への付き添いを行っています。

兵庫県

ひょうご WAC N

入鹿山 松子

☎ 651-2121 神戸市西区水谷 1-17-22

☎/☎ 078-277-1067

✉ w_hyogo0126@yahoo.co.jp

①介護関係、子育て関係、折り紙、生きがいデイサービス

②45人

③活動は、生きがいデイサービス（神戸市委託事業）、兵庫県福祉サービス第三者評価（兵庫县委託事業）を中心に行っています。



「からだにやさしい食事のすすめ」管理栄養士さんから、料理カードを使ってバランスのとれた食事の指導を受けました。



「いきいきはつらつ自分らしく」看護師さんに、座ったままでできる体操を指導していただきました。



同じ下絵でも、配色の違いでご利用者さまの個性が光る作品になりました。

WACひろしま健康麻雀サロン

中村 純朗

☎ 733-0852 広島市西区鈴が峰町 30-1-504

☎ 080-3894-8124

①健康マージャン

②58人

③「ゲームは楽しく、自分には厳しく、相手には優しく」をモットーに、「賭けない、飲酒しない、たばこを吸わない」を参加要件にしています。毎週水・金曜日と第3月曜日の10～16時まで健康マージャンを開催しています。開催中は「耳石」の機能保持のため、1時間ごとに軽運動を行っています。



2018年8月末現在、737回を数えています。



女性も毎回10人前後が参加しています。

四国



愛媛県

WACわをん

重松 美穂

☎ 794-0056 今治市南日吉町 2-2-38

☎ 0898-25-3226 / ☎ 0898-25-1125

✉ wawon@estate.ocn.ne.jp

🌐 <http://wawon-imabari.jp/>

①高齢者疑似体験、心身機能活性化療法

②12人

③「人生の道のりを穏やかで柔軟に自分らしく、自然のままなし得ることが出来るようお手伝いすること」を理念とし、訪問・在宅介護支援事業全般と、介護に関する教育事業を行っています。14年前から実施している「心の交通バリアフリー研修」は、県内のバス会社3社と協力し、乗務員に「うらしま太郎」を装着してもらい、バスに乗る一連の動作を体験して接遇の向上を目指しています。また、高齢者の交通事故が多発しているため、「高齢者の交通事故対策」研修では、警察署と協働で高齢者疑似体験を行いながら反射材の装着率向上を目指しています。

中国



WAC中国ネットワークセンター

茶山 ちえ子

☎ 734-0015 広島市南区宇品御幸 3-16-19 茶山ビル 1階

☎ 082-256-8788 / ☎ 082-256-8787

✉ chikochan@tkcnf.or.jp

①介護関係、高齢者疑似体験、認知症疑似体験、健康マージャン、セミナー・講演会、調査・研究

②110人

③会員がお互いに助け合いながら、楽しく活動できるよう支援に努めています。安心して参加いただけるように、ネットワークセンター独自でも保険に加入しています。

2017年9月、広島産業会館で開催された「福祉用具フェア&セミナー」にうらしまを出展したところ、140人が体験し多くの成果を上げることができました。

生活支援サポーター養成講座の支援も行いました。

広島県

WAC広島ふれあいセンター N

茶山 ちえ子

☎ 734-0015 広島市南区宇品御幸 3-16-19 茶山ビル 1階

☎ 082-256-8788 / ☎ 082-256-8787

✉ chikochan@tkcnf.or.jp

①介護関係、高齢者疑似体験、認知症疑似体験、調査・研究

②30人

③1995年に「WACひろしま在宅介護センター」としてスタートしました。「困った時はお互い様」の精神で「利用者と協力が対等な関係を保ちながら、互いに支え合うことによって安心して暮らせる地域社会づくり」をモットーに、有志が集まって発足しました。利用者も協力者もすべてWAC会員であり、お互いが支え合うとの観点から利用料も低額で、この精神は現在も続いています。以来、介護が必要になった高齢者に生活支援や身体介護を行ってきました。活動をより発展させるため、2004年にNPO法人化し、現団体名となりました。

現在の主な活動は、介護保険訪問介護、介護保険枠外ホームヘルプ、高齢者疑似体験インストラクター養成研修、認知症疑似体験研修、企業への接遇研修などです。



「心の交通バリアフリー研修」の様子。体験者の運転手は乗客と同じように整理券を取って座席に座り、降りるところでボタンを押し、お金を両替し料金箱へ入れて降ります。

沖縄県

WAC おきなわ N 介護

當山 房子

☎ 907-0013 石垣市浜崎町 2-2-8

☎ 0980-88-6075 / ☎ 0980-87-7447

✉ akayura@alpha.ocn.ne.jp

① 介護関係、セミナー・講演会

② 5人 (WAC 会員数)

③ WAC おきなわでは人材育成を活動の柱にしていますが、初任者研修の応募者が激減している現状から、介護職を目指していただくための有効な方法を模索中です。今年は地域活動を担う人材育成の一つとして、県内2カ所「フレンド養成講座」(認知症予防への取り組み活動)を計画しています。



石垣市内で行った「認知症予防フレンド養成講座」

九州・沖縄



福岡県

WAC マイラポール N

久芳 恵子

☎ 836-0047 大牟田市大正町 2-2-1 ヨシダビル 3F

☎ 0944-57-5900 / ☎ 0944-57-5905

✉ goodcare@ivory.plala.or.jp

🌐 <http://goodcare-support.com/>

① 介護関係、介護職員初任者研修、セミナー・講演会、青少年育成事業

② 23人

③ 介護福祉士実務者研修と介護職員初任者研修で、介護の現場で活躍する人材を養成しているほか、小中高校などで薬物乱用防止講演活動を行っています。

熊本県

ひとよし森のホール

小川 香

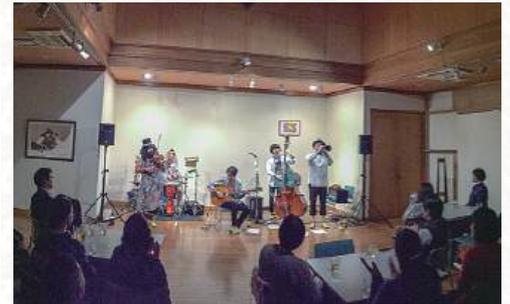
☎ 868-0006 人吉市駒井田町 190-6

☎ 0966-22-4007 / ☎ 0966-22-0288

✉ hitoyoshinomori@kxd.biglobe.ne.jp

① 音楽や朗読、映画上映

③ アートを楽しむ人達が集う文化の発信地として、地元の方やアーティストの作品発表、音楽家のコンサートを企画しています。熊本震災後、保育園・学校への出前コンサート、介護施設等のボランティア演奏など数多く活動しています。



企画・実施したコンサートに集まった親子の皆さん



※ WAC 千葉 (千葉市) は現在、活動休止中です。

花見やバーベキュー
料理教室終了後もグループ活動

品川区からの委託事業

WACは、東京都品川区からの介護予防委託事業を3事業運営しています。

今年度も4月から始めたのは、外出習慣化事業として昼食を提供する「食事処」です。月1回、6カ月のコースで、13人が参加しています。

5月からは、2教室で29人が参加した「男



8月1日、男の料理教室支援講座



5月3日、しながわ区民公園バーベキュー広場で

の手料理教室」と女性も参加できる16人の「わくわくクッキング」がスタート。それぞれ10回コースで、このほど終了しました。

「わくわくクッキング」と「男の手料理教室」では、終了後に2016年度から支援講座を手掛けています。知り合いになった参加者たちが、自主的に集まるように支援



お酒も入り話が弾み、楽しそう

し、運営ボランティアの活動に繋がればという狙いです。

外出習慣を身につけて外出の機会をつくり健康増進につなげていくことが大切という思いから、グループのつくり方や登録の仕方などを指導しています。

その結果、有志の方々により「わくわく交遊会」という名前がグループが立ち上がりました。今年も5月に品川区立の公園でバーベキュー大会を行いました。20人以上が参加し、大変盛り上がり、10月にも行う予定です。

そのほかには金曜日の夕方、月1回のプレミアムフライデーの日に都合がつく方たちが飲み会を開いています。

春には桜を見に上野公園と飛鳥山公園



3月26日、上野公園で



3月26日、飛鳥山公園で

(東京都北区)を巡り、その帰りに月島でもんじゃ焼きを食べて楽しんできました。このように、大グループだけでなく小グループでも活動しています。

(WACさしすせ代表/成塚江見子)

就職者68人と大幅増 求職者508人、紹介137件は前年並み

みなと*しごと55(無料職業紹介事業)

アクティブシニア就業支援センターの「みなと*しごと55」では、ホームページへの求人情報の充実をはじめメールマガジンの配信増、ポスティングなどに取り組み、求職者増を目指しています。

また、求職者のニーズに合った求人の開拓に取り組み、具体的には、大学などの学校事務や、学校や幼稚園の事務員の求人などを増やしています。

2018年5月にはハローワーク品川のエントランスで出張登録説明会を行いました。約40人の方にお声がけし、5人の登録がありました。

6月には、再就職支援セミナー「就職活動実践講座」職業の選択、応募書類の作成、面接のポイントなど就職活動全般を学ぶ」を実施し、39人が受講しました。

合同就職面接会には17事業所、26人の求職者が参加し、28件の面接が行われました。

このような取り組みの成果として、求職者は508人、紹介137件と前年並みです。



6月に開いた「再就職支援セミナー」

● 2018年度第1四半期の実績

| | 実績 | 目標 | 進捗率 | 残 |
|---------|-----|-------|-------|-------|
| 就職者数 | 68 | 290 | 23.4% | 76.6% |
| 求人開拓(件) | 482 | 1,700 | 28.4% | 71.6% |
| 求人開拓(人) | 979 | 3,500 | 28.0% | 72.0% |
| 求職者数 | 508 | 1,800 | 28.2% | 71.8% |
| 紹介件数 | 137 | 700 | 19.6% | 80.4% |

が、就職者は68人となり、昨年同時期から15%以上増加しました。

紹介の精度が上がり、東京都内の他のアクティブシニア就業支援センターの就職者数が伸び悩んでいるこの第1四半期に、順調なスタートとなりました。

今後の取り組みとして、10月19日に第2回の再就職等支援セミナー、10月25日には第2回の合同就職面接会を予定しています。(所長/小野澤誠)

高齢者の就労支援 年間60回のセミナーを開催

生涯現役社会推進事業

東京しごと財団の「生涯現役社会推進事業」の企画提案に応募したところ、採用され、早速事業を始めています。

同事業は、高齢者が多様な就労機会を得て就労意欲を持つための働きかけと啓発のセミナーを開くものです。これにより、「生涯現役社会」の実現を目指そうという狙いです。高齢者自身の就労に対して意欲あふれる就職活動への後押しとなれたいと思います。

セミナーは東京都内の各地で60回開きます。1回の受講者定員は30人で、合計で1800人を目指します。受講要件は、受講日の時点で55歳以上であること、これから就職活動を始めたいとお考えの方、またはすでに就職活動中の方です。

セミナーは、第1部ではファイナンシャルプランナーによる「これからのライフプランニング」、第2部では東京しごとセンターによる「シニア世代の再就職の現状と考え方」の2部構成となります。

新聞の折り込みチラシをはじめ、東京しごとセンターやハローワークでセミナーの開催を知り、申し込む方が大半です。新聞の折り込みチラシが配布される日には、参加申し込みの電話が午前9時から鳴り続けます。そして、すぐに定員がいっぱいとな

る大盛況です。

セミナーを受講した方々からの評価も高くなっています。受講者アンケートによると、第1部の内容について「参考になった」「とても参考になった」が95%を超えています。来年度もぜひとも継続してこの事業ができるように、良い結果を残していきたいと思っています。

(事務局長・常務理事/小町純)

新宿区と江東区のセミナー開催チラシ

介護予防啓発イベント 「ハッピースマイル・エクササイズ」を開催

千葉県福祉ふれあいプラザ(千葉ふれプラ)

千葉県福祉ふれあいプラザでは、7月に介護予防関連の自主事業を2つ行いました。

7月4日に介護予防運動が主体の「ハッピースマイル・エクササイズ」を、29日に芸術鑑賞が主体で運動をちよつと加えた「サマーコンサート」を開催しました。

どちらも恒例となっている人気イベントですが、今年は『笑い』をテーマに据えました。笑いの中でも、ホツとするような馴染みやすいものをエクササイズや演目に取り入れました。

ハッピースマイル・エクササイズでは、益踊りをエクササイズとして捉えて行つてみました。同イベントは、健康には興味があるものの運動習慣がない方に、運動の楽しさと介護予防教室への参加を促すことを目的にしています。運動習慣を正しく身につけることは意外と難しく、自治体等が主催する介護予防教室に参加する人は限られています。

少しの興味を本格的参加に結びつけるためのお試的なイベントです。参加しやすいように定員も多めにしています。ホールに約130人が集まり運動をするため、企画したトレーニングセンターの職員は総出で対応します。

約500人が集まるサマーコンサートは、

共同事業体の構成団体であるNPO法人ACOB Aが主に運営しているホールが主体となつて毎年実施する自主事業です。

同コンサートに介護・認知症予防体操を組み込んだのは3年前からです。今回も副題は、「音楽と軽体操で認知症予防」としました。

出演していただいたのはNHK Eテレの小学校向け番組「おんがく♪ラッポ」にレギュラー出演している、別名「クラッシュ」で笑顔を創るデュオ」のスキテツさんと、演目はクラシックの名曲と様々な音楽との融合で笑いを誘う内容でした。

そのスキテツさんが、いろんなコンサートに出たが演奏の合間に体操があつたのは初めてだと面白がっていました。

今夏は、災害的な暑さが続いたため熱中症対策には気を配りました。お茶や水のコーナーはもちろん、参加人数の多いサマーコンサートでは塩飴も準備しました。

どちらのイベントも高齢者が中心ですが、年々、要介護者が増えてきたようです。今回、目の不自由なお年寄りも参加されました。今後とも、文字通り健康で文化的な啓発イベントを自主事業として推し進めたいと思います。

(統括責任者・常務理事／小林里美)



サマーコンサートでの介護予防体操



ハッピースマイル・エクササイズ



東京都社協から受託、年3回実施

介護職員初任者研修・資格取得支援事業

WACは、東京都社会福祉協議会から「介護職員初任者研修・資格取得支援事業」の委託を受けました。事業期間は5月から来年の3月末までです。

東京都の介護人材確保対策事業は、①職場体験事業、②介護職員初任者研修事業、③介護職員就業促進事業があり、そのうちWACは②介護職員初任者研修を行います。

事業の利用申し込みは、全3事業とも同社協の東京都福祉人材センターになります。

WACが行う介護職員初任者研修は、①の介護職場体験を行った方が無料で受講できる資格取得支援事業で、福祉・介護業界への就労を支援します。

期間中、10月26日～12月10日、12月11日～19年2月6日の2回開催します。会場はすべて品川区の「ふれ愛ドゥライフ品川」です。

①の職場体験事業は、1人につき最大3日間まで（1日でも可）東京都福祉人材センター登録の介護施設や事業所で介護業務の体験に無料で参加できます。

③の介護職員就業促進事業は、介護業界への就労を希望する方に、介護施設で働きながら介護職員初任者研修資格を習得する支援で、事業期間中最長6カ月の有期雇用契約を締結します。研修受講中も

給与が支払われ、受講料も無料です。

今までの介護職員初任者研修の申し込みは直接WACが受け付けていましたが、今回の研修申し込み先は東京都福祉人材センターです。WACとしては、介護職場体験を行う施設にアプローチし、受講者を一人でも多く確保したいと思っています。

また、WACが今までお世話になった介護施設にこの研修を紹介し、受講生の確保に全力を尽くしたいと思っています。

今年度の介護職員初任者研修（通信）は、東京都だけで開催します。無料で受講できる研修ですが、集客に力を入れられないと、人が集まりません。受講対象は問わないので、会員のみならず、お知り合いの方で介護職に興味のある方、資格を取りたいと思っている方がいらつしやいます。ぜひご案内ください。（研修・教育事業担当常務理事／平野陽子）

開設への後押し、初めて1日講座を実施

「コミュニティカフェ開設講座

2012年に始めたコミュニティカフェ開設講座は、主に初めて受講する人を対象に「基礎編」として15期行ってきました。全受講生は350人を超えますが、過去の受講生をフォローする講座を行ったことはありませんでした。また「基礎編」は5、6回と回数が多く、忙しい人は参加しにくい面がありました。

そこで、「開設に向けた歩が踏み出せない」という過去の受講生やコミュニティカフェの基礎的なことは知っているという人を後押ししようと8月4日（土）、「1day実践講座」を開きました。

会場となったWAC研修室には、石川・三重・長野・山梨の各県からも含めて、23人が集まりました。

講座ではまず、事務局の昆布山が「複数事例から学ぶ、お客様の集め方」と題して話しました。集客に成功し、収益も上がっている事例を、自宅・空き家・空き店舗・公共施設などに分けて20以上紹介しました。続いて、木材製造・販売会社「加賀木材」の森下大介さんが、能登ヒバの木のおぬくもりや香りにより、お昼時は予約でいっぱいのお金沢市の「ウッド・スタイル・カフェ」を紹介し、空間作りの大切さを訴えました。

午後は、税理士の堀内龍文さんが進行役となり、内装工事業の植木拓史さんが、あまりお金をかけなくても工夫次第で見栄

えがある改装事例などを写真で説明しました。

受講生からは「居心地の良い空間・環境を求めて、できるだけ改善していきたい」「具体的に空間作りやお金に関することができたので、前に進むうと思った」など意欲的な声が聞かれました。

今後の講座の受講料を割り引いたり、フォローをするとして、14人の受講生に賛助会員として入会してもらえたので、会員増に少しばかりの貢献もできました。

「1day講座」は、今後も内容を変えて開きたいと思います。認知症カフェを含めた従来の講座も、千葉県福祉ふれあいプラザの県民研修などで続けていきます。（コミュニティカフェ事業担当／昆布山良則）



評価者研修会を開く 保育所なども評価実施

福祉サービスの 第三者評価事業

今年度より東京都の「組織マネジメント
共通評価項目」及び「職員自己評価方法」
の大幅な改訂がありました。

これに対応するため、評価者の皆さんに
改訂内容の理解を深めていただくことを主
としたWAC内評価者研修会を開催しまし
た。

評価者の皆さんには、その他、第三者評
価推進機構の研修、自己研鑽等を通じて、
それぞれ評価力のレベルアップを図ってい
たいです。

さらに、評価者相互、事務局との一層の
連携強化を進め、WACならではの評価活
動を推進していきます。

評価実施事業所については、民間施設の
受審先拡大を目指していますが、今年度
も自治体案件が多くなっています。その中
で高齢者分野に加え、認証保育所、児童
養護施設等の民間の事業所の評価にも取
り組んでいます。

今後は、さらに新しいサービス分野の評
価に向けた評価者の確保や育成を課題と
して、中期計画の実現に向けてチャレンジし
ていきます。

(第三者評価事業担当理事／藤井紘一郎)

WAC 第三者評価評価者の声

妻鹿由美子さん（正会員）



東京都福祉サービス第三
者評価制度の開始間もない
2002年から、WACに
評価者として参加していま
す。

広く、深い社会経験を活かして評価したい

に公表されます。

福祉サービス第三者評価の目的は二つ
あります。一つは「利用者が事業所を選
択する際の目安とするための情報提供」、
もう一つは「事業者が利用者本位のサー
ビスの質の向上に取り組むための気づき
の提供」です。対象サービスは、高齢者
障害者、子ども家庭、婦人保護、社会的
養護などです。評価結果は、事業所のお
る都道府県・政令都市等のホームページ

高齢者分野では、制度開始当初は、措
置の名残が濃く、「寝たきりゼロへ、寝
間着を着替え、車いすへ移乗」と訴える
講演に胸を熱くしました。利用者はベッ
ドや車いすに安全にベルトで体位確保さ
れ、認知症グループホームでは「便対策
として通風管理がなされ」などと、評価
の講評に記しました。

利用者様が快適な住環境で暮らし続け、
談笑や美味しい食事を楽しむことができ、
また、充実した人生を過ごす意欲を諦め
なくて済む介護保険サービスの実現を願
って、WACの第三者評価の在り方、評

私がWACの第三者評価者となったの
は2012年です。WACの第三者評価
事業の担当をされていた理事の勧めによ
り、東京都の第三者評価者養成研修を受
講し資格を取得しました。

玉手 幸一さん（正会員）



WACのホームページの
福祉サービス第三者評価ペ
ージを見ると、「事業所の
一生懸命を見える形にしま
す」というコピーが最初に

リーダーから「利用者本位の視点」を学ぶ

以来、多くの評価者の方と評価をこ
ろさせていただき、経験を積ませていた
だきました。忘れることができないのは、
最初の評価活動で一緒にさせていただ
いた評価者リーダーのK氏のことです。評
価者としての姿勢や技術を多く教えられ
ました。評価の記述に少しでも曖昧さが
あると「より正確な記述を」との指摘が
入り、「上から目線の書き方になってい
る。利用者本位の視点を」など、鋭いコ

飛び込んで来ます。

私はこの言葉が好きで、WACの評価
姿勢として、事業所の皆様の日頃の頑張
りや工夫がよく見える評価をさせていた
だきます、と常にお伝えしています。

そのため、事業所の経営理念や実際の
取り組みをつぶさに拝見し、事実に基づ
いた正確な第三者評価をしなければなら
ない、と自戒の言葉として常に心にとど
めています。

評価の質を繰り返し検証してきました。

高齢者分野にとどまらず、保育園や障
害者関係、社会的養護関係施設の評価に
も関わっています。こうした幅広い活動
で、社会の支えを必要とする乳児から終
末期まで、豊かさの享受、思いやる共生
命を謳歌できる制度や体制、それを支え
合う心に、評価受審者や関係者の意識が
及ぶ評価を目指しています。

広く伝わる報告書の表現は永遠の課題
です。WACの評価員の広く、永く、深
い社会経験を活かした評価が歓迎される
よう一層研鑽し、WACの福祉サービ
ス第三者評価が社会貢献事業として前進す
るための力となるように努めたいと思
っています。

コメントを頂きました。今でも、感化を受
け、少しでも近づけるよう努力せねばと
いう刺激になっています。

私は、これまでは高齢者関係の事業所
の評価を多く行ってきましたが、今後は
社会的養護関係施設の評価にも携わりた
く、東京都福祉サービス評価推進機構の
関連研修に参加し研鑽しています。

平成30年度には、組織マネジメントに
関する評価項目が大きく改定されました。
この改定では、事業所の理念・取り組み
が、いかに職員全員に浸透しているかが
より鮮明に浮かび上がるようになりまし
た。このことを事業所にしっかりお伝え
し、評価を通じて、より良い事業所運営
への気付きを提供できるよう努めていき
たいと思っています。

UR、高知県社協で研修

高齢者疑似体験事業

法人賛助会員である高齢者住宅財団からの依頼で5月10、11日に、都市再生機構（UR都市機構）の中堅職員72人への研修を行いました。

2014年から毎年実施しており、「研修会場のビルを出て外に行く」という体験を入れ込み、受講者から、「貴重な体験が養成できて良かった」「高齢者の大変さを実感できた」と好評を得ています。

中堅職員研修ということで、高齢者に対応する職員としての接遇向上という視点のみならず、一生涯を過ごしてもらおうための街づくり、コミュニティづくりという広い観点での意見もたくさん出てきます。

また、5月17～19日は、高知県社協に向向いてインストラクター養成研修を実施しました。高知県社協は県下の市社協を中心に多くのうらしまインストラクターを養成し、いつ、どこでも「うらしま」研修の



高齢者に優しいクリニックを目指して研修中。溝口ファミリークリニックで

要望があれば職員がお手伝いできる体制を整えています。

隔年で高知県への出張研修を行っていますが、今回も参加者36人と盛況で、みなさん熱心に取り組んでいました。特に今回は、県社協の担当スタッフの多くが異動となることから、新担当者に対して、研修を進める際の話術やまとめ方のコツなどをレクチャーする「研修ファシリテート講座」を補講として開催しました。1週間後には研修会を開催しなければならぬというスタッフもいて、熱い質問が飛び交いました。

6月7、8日には、WAC本部でインストラクター養成研修を開きました。参加者15人。青森、山梨、静岡、富山、岐阜と、首都圏以外の参加者も多く、2日間の研修で、インストラクターとして必要な知識と技術を学びました。

社協、施設、病院、企業など立場は違いますが、高齢社会に向き合い、高齢者に優しいサービスや商品を提供できるよう、インストラクターとして活躍されることを期待しています。

その他、昨年から研修を導入した公益社（葬儀場）と今年新規に依頼を受けた静岡県の溝口ファミリークリニックで、それぞれの専門業務に応じた体験を取り入れた研修を行い、大変好評でした。

（研修・教育事業部主任／榊芳子）

わずか59時間の研修でOK 介護保険の訪問介護に新しい介護資格

生活援助従事者研修課程

この春、厚労省が発表した介護保険の新しい介護資格「生活援助従事者研修課程」が注目されています。訪問介護の中の生活援助中心型のヘルパー資格で、研修時間は59時間（内容は別表）。現在の130時間の初任者研修の半分以下となり、不足する介護人材が集めやすくなりました。

かつてのヘルパー3級が50時間でしたが、科目内容も似ていてシンプルです。このうち通信課程で29時間学べますので、通学は5日もあれば十分です。受講生の負担が少

なく、容易に介護を学べる研修だと期待されています。WACでは、各地のWACポイントでヘルパー研修を実施した実績があり、今回も準備を進めています。

かつて介護の資格といえばホームヘルパー1～3級でした。介護保険制度開始前夜の普及から、介護保険への期待と通信課程の普及から、2000年前後は空前のヘルパー研修ブームに沸いたものです。

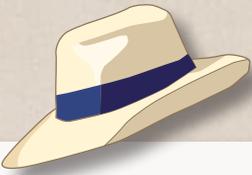
その後、徐々にヘルパー研修が下火となる中、2008年に介護職員基礎研修が始まり、2012年にヘルパー1級と介護職員基礎研修が統合された実務者研修が出現します。翌13年、長く介護職の中心的資格であったヘルパー2級が介護職員初任者研修と名称変更されます。施設実習が消えた代わりに、通信課程でもスクリーニングが90時間近く課せられ、通学日数が増加。このため受講料が高騰して受講生の減少を招き、受講料のダンピング合戦となりました。また、上位資格の実務者研修は、通信課程の通学時間が初任者研修より30時間近く短い約60時間となり、学びやすい資格となりました。

生活援助従事者研修は、久々に受講生の立場に立った研修と言えます。

（常務理事／小林里美）

●「生活援助従事者研修課程」の研修内容

| No | 科目名 | 時間 | 内、通信 上限時間 |
|----|---------------------|----|--------------|
| 1 | 職務の理解 | 2 | 0 |
| 2 | 介護における尊厳の保持・自立支援 | 6 | 3 |
| 3 | 介護の基本 | 4 | 2.5 |
| 4 | 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 3 | 2 |
| 5 | 介護におけるコミュニケーション技術 | 6 | 3 |
| 6 | 老化と認知症の理解 | 9 | 5 |
| 7 | 障害の理解 | 3 | 1 |
| 8 | こころとからだのしくみと生活支援技術 | 24 | 12.5 |
| 9 | 振り返り | 2 | 0 |
| 合計 | | 59 | 29 |



「ドイツのホスピスは8人の「共暮らし」普通の住まい」で死を受け入れ

日本の介護保険がお手本にしたのがドイツである。日本より5年前の1995年から介護保険が始まり、4回の保険料アップを経て、昨年1月の大改革では認知症の人へのサービス提供を大きく広げた。財源難からサービスの縮小に向かう日本とは大違いだ。

介護や医療を利用する際に、日本と最も異なるのは「死」への考え方、対応だろう。「誰もが必ず死を迎える」「死は普通の生活の延長にある」「死の場面だけ特別な場所、とりわけ病院を選ぶのはおかしい」という思いが国民の間に常識となりつつある。

死を覚悟した人たちが最期を過ごす「家」、ホスピスをフランクフルトの近くのマインツ市で訪ねた。カソリック系の介護団体、カリタスが運営する「クリストファラス・ホスピス」。

聖母子像が目を引き修道院の佇まいが残る。だが建物内はモダンなリビング・ダイニングルームが広がり驚かされる。木の床や収納棚。青色のテーブルクロスに座面の青い椅子。温かみのある造りだ。入所型ホスピスとして改装したのは2002年1月。8つの個室も木の温もりと青色で統一。収納棚にはチューブなど看護・医療器具を収めているが、扉を閉めたまま。利用者者に医療を意識させない配慮である。

「生きている限り人生は楽しむもの。普通の日常生活が出来るように心がけています」と運営者。入居者たちはベッドで愛犬と戯れたり、テラスで皆で食事をし



LDも普通の家のような雰囲気だ



外観は昔の修道院風で、改装してホスピスに



テラスで食事を楽しむ入居者たち



7週間前に入居した末期がんの高齢者



8つの部屋は木肌と青色で統一されスッキリ

たり、バスデューキーを目の前にすることも。そこへマルボロの煙草ケースを手にした白髪女性が現れた。素足にサンダル履き。「独り暮らしが難しくなったから来ました。ここでは皆で冗談を言い笑いあう。自宅にいる気分です」と笑顔で話し出す。

2017年の利用者は89人。わずか3日で亡くなる人もいたのでかなり多い。カソリック系だが、プロテスタント信者が41人。「宗派を問わずに誰でも受け入れています」。普遍的な地域サービスへ変容している。

入居条件は、治療が終わり、緩和ケア、疼痛管理が必要で、自宅では暮らせないこと。また、死が間近だと本人がよく理解しリハビリを期待していない。ほとんど末期がん患者だが、脳内出血などの人もいる。

ドイツには、このような入所型のホスピスが2016年時点で235カ所あるという。病院併設が多い日本のホスピスとは異なる。保険料に税の投入はなく国民が直接払い、しかも消費税は19%と高率。「制度を支えるには負担は当然」という国民の意識が強い。人間の生死についても同様の合理的な覚悟が成されているようだ。

「ふれあいねっと編集長」
浅川澄一



『ふれあいねっと』は、個人正会員134人、個人賛助会員768人のほか、以下の法人・団体のご協力により、発行しています。

あいおいニッセイ同和損害保険㈱/（N）ウェアラブル環境情報ネット推進機構/（一財）高齢者住宅財団/（一社）コミュニティネットワーク協会/（公財）さわやか福祉財団/（N）さをりひろば/篠原保医療情報専門学校/（N）SSSネットワーク/（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会/テクニカルコミュニケーションズインテリジェントジャパン㈱/（N）東京山の手まごころサービス/東友会関東支部/トッパン・フォームズ㈱/（N）ナイテイングール/名古屋大谷高等学校/（一社）日本健康麻将協会/（一社）日本産業カウンセラー協会/（N）日本心身機能活性療法指導士会/（一社）日本青少年育成協会/久光製薬㈱/（N）りすシステム/YKK AP㈱

※五十音順。㈱=株式会社、(有)=有限会社、(一財)=一般財団法人、(公財)=公益財団法人、(一社)=一般社団法人、(公社)=公益社団法人、(学)=学校法人、(N)=NPO法人



あなたの暮らしをもっと豊かに、生き生きと 公益社団法人長寿社会文化協会 WAC へ 入会しませんか！

WACはWonderful Aging Clubの略
楽しく年を重ねていきましょう！

個人賛助会員の年会費は3,000円
会員誌『ふれあいねっと』が届きます
(個人正会員の年会費は、10,000円)

●WAC会員の特典●

会員が安心してWACの活動に取り組めるよう、会員補償制度を設けています。

●ご入会およびお問合せ●

☎ 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1 階 公益社団法人長寿社会文化協会
☎ 03-5405-1501 代

●年会費のお振込先●

ゆうちょ銀行振替口座 00150-1-33737 公益社団法人長寿社会文化協会

表紙の写真は：

右上隅 ● 東京都品川区の介護予防事業「わくわくクッキング」に参加した皆さん (P16)

右側の上から ● わくわくクッキングの終了後に参加者が自主的に集まるように行った支援講座 (P16) ● 定時総会では質疑応答が活発に行われた (P3～5) ● 千葉市で行っているコミュニティカフェ開設講座で先輩受講生 (左) が開いたカフェの話を受講生たち (P19) ● ひょうごWAC、コンテスト用の塗り絵作品 (P13)

左側の上から ● ベルリンの高齢者施設 (P22) ● わくわく交遊会で行ったバーベキュー大会 (P16) ● 八千代市で行われた千葉県福祉ふれあいプラザの出張県民研修 ● 千葉県福祉ふれあいプラザが居るビルで行われた、はしご車による救出訓練

2018年9月20日発行 通巻276号

発行人： 升田 忠昭
編集人： 浅川 澄一
編集： 昆布山 良則、小山 環
発行： 公益社団法人・長寿社会文化協会

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-8
日本女子会館 1 階
TEL：03-5405-1501 (代)
FAX：03-5405-1502

制作： 岡村直実 (JCユニット)
定価 400円 (税込)

惜別

理事の三宅章之さんが逝去

理事である三宅章之さんが8月26日、お亡くなりになりました。倒れたとの一報を受け、深刻な病状に心配しておりましたが、遂に戻っては来られませんでした。77歳でした。

三宅さんは千葉県船橋市民。NPO 団体で移送サービスの運転士養成研修の講師を務めるなど地域福祉に活躍されていました。WAC に入会されたのは2000年。品川区委託事業を手伝われ、3年前からは我孫子の千葉県福祉ふれあいプラザで介護予防講習「ピンピンキラリ初歩麻雀」の講師を担われていました。この麻雀は三宅さんが開発したものです。

にこにこされながら近所の直売所の卵や梨をお土産に持って我孫子にいられていました。喜怒哀楽がよく出て、新しいことに果敢に挑戦し、何よりバイタリティあふれる行動力が印象的でした。諦めないポジティブな気持ちを維持することはできそうで難しいことです。突然のお別れで、感謝の言葉を伝えることができませんでした。三宅さん、本当にありがとうございました。(常務理事/小林里美)



ピンピンキラリ初歩麻雀のボランティア養成研修で講師を務められた。



ピンピンキラリ初歩麻雀で受講者を指導 (いずれも2015年5月、千葉県福祉ふれあいプラザで)

「ふれあいねっと」バックナンバーのご案内

1冊400円(税込)+送料(メール便)でお分けします。代金後払い(郵便為替・銀行振込、手数料お客様負担)です。在庫がなくなり次第販売終了となりますので、あらかじめご了承ください。

2018年5月号 (No.275)



- Message「WAC 創立30年——思い起こす両会長の言葉」
- コミュニティカフェの開設講座と全国交流会
- 主要事業の報告(2017年度の振り返り)
 - 介護人材マッチング・定着支援事業は55人が受講
 - 第三者評価は過去最多の54件
 - 千葉ふれプラは3年連続で20万人超が利用
 - 訪問サービスの担い手217人養成
 - 台東区立小の大半でつくし君研修
 - 男の手料理教室には72人参加
- ポイントからの活動報告
 - カルチャースクールで仲間づくりを進めるWACぐんま

2018年1月号 (No.274)



- Message「創立30年を機に原点返りの改革を断行」(升田忠昭 理事長)
- WAC 定時総会
 - 升田忠昭さんが新理事長に
 - 定款の一部改定、役員「任期1年」
 - 議案は見送り
 - 新役員一覧
- 主要事業の報告
 - 川崎市介護人材マッチング・定着支援事業
 - 千葉ふれプラの利用者数は累計200万人に
- ポイントからの活動報告
 - 西日本各地で認知症高齢者疑似体験の研修会を行う「WAC ゆずり葉」

2017年3月号 (No.273)



- 巻頭言(須藤康夫 理事長)
- WAC ポイント探訪
 - 笑顔弾ける 男の手料理教室
- ポイントからの活動報告
 - 3年連続でコミカフェ講座を開催
 - 音楽で人の心を癒す
- 主要事業の報告
- オーストラリア視察報告
- ボランティアとオリンピック②
- 外国人技能実習制度に介護職が追加になることについて(須藤康夫 理事長)

2016年10月号 (No.272)



- WAC ポイント探訪
 - 健康マージャンでいきいき! (WAC 豊健康の街づくり)
- 全国 WAC ポイント一覧
- 熊本を知る——支援活動報告(小林里美 常務理事)
- ボランティアとオリンピック①
- WAC 定時総会報告
 - 高齢者疑似体験や第三者評価が健闘
 - 前年度を上回る367万円の黒字に
- 主要事業の報告
- 惜別 下河辺淳初代会長が逝去

WAC からのお知らせ

●今年度の理事会・常務理事会日程

これからの理事会の開催日は、11月15日と来年の3月20日です。常務理事会は、10月18日、11月15日、12月20日、それに来年の2月21日、3月20日です。3月20日(水)を除き、いずれも第3木曜日です。

●Facebookページを開設

WAC 本部ではFacebook ページを開設しています。研修の受講生募集、WAC の事業や会員が紹介された新聞・雑誌・ネットの記事やテレビ・ラジオ番組で紹介される予定など、主に拡散や速報性が求められる情報を掲載しています。

Facebook で「公益社団法人長寿社会文化協会 (WAC)」または「wachonbu」と検索してください。

アドレスは、<https://www.facebook.com/wachonbu/>

ご注文

お送り先の郵便番号、住所、電話番号、氏名、希望の号、冊数下記までお知らせください。

WAC • E-mail: iken@wac.or.jp • FAX: 03-5405-1502 • TEL: 03-5405-1501
WONDERFUL AGING CLUB 公益社団法人長寿社会文化協会